

2007年7月16日新潟県中越沖地震 7月28日調査報告

加藤大介、中村友紀子、南部正樹(新潟大学)、時田一雄(ポリテクカレッジ新潟)  
阿部博之、浦井基之、宮島雄大(新潟大学自然科学研究科)、伊藤弘人(新潟大学工学部4年)

7:00 新潟大学発

国道402号線 国道352号線 - 国道116号線 - 国道352号で柏崎中心へ。県立柏崎アクアパーク(柏崎市学校町)近くの駐車場に駐車。

9:00 西本町2丁目の悉皆調査(結果は別に報告予定)

11:30 悉皆調査終了

13:15 見附市今町小学校

校舎棟は建て一列にならんだ3棟のRC造3層よりなる(写真1-1)。これらはEXJによりつながっている。これらの校舎は建て替えが決まっており、数年後に解体予定とのことである。

このうち1棟の北側の偏平(仕上げを入れて約25cm×160cm)な柱計4本(1階2本、2,3階がそれぞれ1本)に損傷程度程度のせん断ひび割れがみられた。写真1-2は1~3階全てにせん断ひび割れが見られた柱である。写真1-3は1階の詳細であるが、ひび割れ幅は0.7mm程度であった。また、2004年中越地震の際にも同様のひび割れが観察されたとのこと、その補修痕がある柱が1本あった(写真1-4)。

南側の玄関ポーチの独立柱が校舎に比べ相対的に若干浮き上がっていた(写真1-5)。この柱の中柱には材軸に垂直なひび割れが観察された(写真1-6)。

15:00 新潟大学着



写真1 1



写真1 - 2



写真1 - 3



写真1 4



写真1 - 5



写真1 - 6